

令和7年12月10日

活字文化グローバル展開協議会を開催します ～産学官の連携協力による活字文化のグローバル発信に向けて～

文化庁は、我が国の活字文化を、業界や社会全体でグローバルに展開する機運醸成を図るとともに、世界市場をターゲットとした戦略づくりを行うことを目的に、作家、アカデミア、出版関連業界、関係省庁等から構成される協議会を開催します。

1. 趣旨

我が国の活字文化は、質、量ともに非常に層が厚く、翻訳を通じて世界に発信される作品に対する国際的な評価も高まりつつある。また、活字文化は、作品を通じて我が国の文化や歴史、思考、感性等を直截に伝達する力を有し、ソフトパワーの観点からも極めて潜在的な魅力を有している。

他方で、国内に十分な市場を有していたことから、これまでは必ずしも戦略的な海外展開には十分に取り組んできてはならず、コンテンツ産業として一層飛躍するためには、改善の余地が大きい。

以上の背景を踏まえ、業界や社会全体で活字文化のグローバル展開する機運醸成を図るとともに、世界市場をターゲットとした戦略づくりを行うため、作家、アカデミア、出版関連業界、関係省庁等から構成される協議会を発足する。

2. 開催日時

令和7年12月12日（金） 14:00～15:00

※協議会終了後、担当者による記者ブリーフィングを実施予定

3. 場所

文部科学省3F1特別会議室

※記者ブリーフィングは3F2特別会議室を予定

4. 主な議事

議事（１） 都倉文化庁長官挨拶

議事（２） 活字文化のグローバル展開に向けた課題と今後の戦略について

議事（３） 自由討議

議事（４） その他

5. 出席者

別紙を参照。

6. 取材について

会場での取材を希望される報道関係者は、12月11日（木）17時までに、以下の事項を取材登録フォーム（<https://forms.office.com/r/sFATF4PTLy>）にて御登録をお願いします。

【登録事項】

- ・ご所属（社名）
- ・取材者氏名（カメラマン等を含む全員のフルネーム）
- ・連絡先（当日連絡がつく携帯電話番号）
- ・カメラ撮りの有無、ある場合はムービーかスチール
- ・記者ブリーフィングへの参加の有無

《留意事項》

○会場内における協議会の取材および撮影は、議事（１）の都倉長官挨拶までとさせていただきます。議事（２）以降は「非公開」とさせていただきますので、ご退出いただきます。※オンライン配信等もございません。

○協議会終了後の記者ブリーフィングにご参加いただける方は、3F2 特別会議室でお待ちいただけます。（記者ブリーフィング開始予定時間 15:30 ※開始予定時間は、協議会の進行等により変更になる場合がございます。）

○取材にあたっては腕章を携帯していただくとともに、現地担当者の指示に従っていただきますようお願いいたします。

○入館登録等の関係で、事前に取材申込をされていない場合は取材できかねますのであらかじめご了承ください。

文化庁「活字文化グローバル展開協議
会」取材登録フォーム（報道関係者様
向け）



<担当> 文化庁文化経済・国際課
担当：藤田、堀口、吉川
電話：03-5253-4111（代表）
03-6734-4898（直通）
メール：cbx-pj@mext.go.jp

活字文化グローバル展開協議会委員名簿

(敬称略・五十音順)

相賀 昌宏	株式会社小学館取締役会長
小野寺 優	一般社団法人日本書籍出版協会理事長
亀山 郁夫	名古屋外国語大学学長 公益財団法人せたがや文化財団世田谷文学館館長
辛島 ディヴィッド	早稲田大学国際教養学部教授
桐野 夏生	一般社団法人日本ペンクラブ会長
近藤 敏貴	一般財団法人出版文化産業振興財団理事長
高井 昌史	株式会社紀伊國屋書店代表取締役会長
鉄尾 周一	株式会社マガジンハウス代表取締役社長
野間 省伸	株式会社講談社代表取締役社長
林 真理子	公益社団法人日本文藝家協会理事長
廣野 眞一	株式会社集英社代表取締役会長
吉田 恭子	京都大学大学院人間・環境学研究科教授

(以上 12 名)

【関係省庁・機関】

文化庁、外務省、経済産業省、(独) 国際交流基金、(独) 日本貿易振興機構 (ジェトロ)